

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月14日

上場会社名 株式会社コプロ・ホールディングス 上場取引所 東 名
 コード番号 7059 URL <https://www.copro-h.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清川 甲介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 齋藤 正彦 TEL 052-589-3066
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	11,137	28.5	737	56.9	810	71.8	510	81.9
2023年3月期第2四半期	8,670	17.1	469	△25.7	472	△25.2	280	△14.6

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 511百万円（80.0％） 2023年3月期第2四半期 284百万円（△13.6％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.27	26.17
2023年3月期第2四半期	15.10	14.97

（注）当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	10,763	7,354	67.8
2023年3月期	9,995	7,112	70.4

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 7,302百万円 2023年3月期 7,041百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	30.00	—

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり配当金につきましては、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間の配当予想（合計）につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、記載しておりません。

※配当予想につきましては、本日公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,298	29.3	2,042	54.5	2,115	59.7	1,361	57.4	72.35

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2. 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が2024年3月期の期首に行われたと仮定して算定しております。

※連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	20,000,000株	2023年3月期	20,000,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,088,690株	2023年3月期	1,412,814株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	18,708,876株	2023年3月期2Q	18,573,464株

（注）当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計会計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い経済社会活動への制約がほぼ無くなり、景気は緩やかな回復の動きがみられております。一方で、世界的な物価上昇、金融引き締め等による世界経済の減速など、我が国の景気を下押しするリスクに引き続き留意が必要な状況にあります。

このような経済環境の中、当社グループの主要顧客が属する建設業界においては、堅調な公共投資と共に、民間投資も設備投資の再開の傾向にあり、建設投資が全体として増加傾向にあります。当社においても、建設業界が抱える技術者の高齢化及び若手不足の構造的な問題は依然として続いており、技術者派遣事業の足もとの受注状況は前年同期を大きく上回る水準で推移しています。加えて、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」により改正された労働基準法により、建設業界への時間外労働の上限規制の適用が2024年4月に迫っており、技術者派遣に対する需要は旺盛に推移しております。

このような事業環境のもと、当社グループは2022年5月に公表した中期経営計画「コプロ・グループ Build the Future 2027」の実現に向け、中長期の成長を見据えた取組みを推進しております。

当社グループのコアサービスである建設技術者派遣を展開する株式会社コプロ・エンジニアードでは、2024年4月に控えた時間外労働の上限規制適用に伴い拡大する需要を確実に獲得するために、事業成長の礎である技術者を確保する体制の構築を重点課題に掲げ、採用活動の強化に係わる取組みを推進いたしました。採用面においては、採用費を前期に続き積極的且つ費用対効果を重視し効率的に投下するとともに、採用の入口となる面接数の拡大に向け、応募管理システムを導入し、面接設定の自動化によるリードタイムの短縮等、採用活動の強化に取り組みました。また、2023年4月には前年実績より100人多い154人の新卒技術者が入社し、中途採用以外の採用チャネルの構築を推進いたしました。この結果、当第2四半期連結累計会計期間における採用人数は1,072人と前年同期比464人の増加となりました。これらの取組みにより、当第2四半期連結会計期間末における技術者数は3,205人（前連結会計期間末2,777人、前第2四半期連結会計期間末2,344人）となりました。

機械設計開発技術者派遣・請負サービスを展開する株式会社アトモスにおいては、営業及び採用の担当社員を増員し、顧客企業からの取得案件数、並びに採用数が増加いたしました。特に重点強化している半導体、ソフトウェア等の産業機械への派遣分野が伸長いたしました。これらの結果、当第2四半期連結会計期間末における技術者数は193人（前連結会計期間末159人、前第2四半期連結会計期間末134人）となりました。

SES（システムエンジニアリングサービス）を展開するバリューアークコンサルティング株式会社においては、2023年3月にオープンしたITエンジニア向け案件紹介サイト「ベスキャリ IT」の運用に注力し、公開にあわせて広告費を戦略的に投下いたしました。これにより、当第2四半期連結会計期間末における稼働技術者数は117人（前連結会計期間末100人、前第2四半期連結会計期間末97人）となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計会計期間における業績につきましては、建設技術者派遣の株式会社コプロ・エンジニアードの技術者数が増加したことに加え、株式会社アトモス、バリューアークコンサルティング株式会社においても技術者数が伸長し、当第2四半期連結会計期間末の連結技術者数が3,515人（前連結会計期間末3,036人、前第2四半期連結会計期間末2,575人）と増加したため、売上高が11,137,475千円（前年同期比28.5%増）となりました。利益面につきましては、採用費のほか、主に建設技術者派遣における2024年4月以降の需要拡大に向けた営業・採用部門の増強による人件費等の増加による販売費及び一般管理費の増加を、売上高の増加に伴う売上総利益の増加で吸収したことにより、営業利益は737,221千円（同56.9%増）となりました。また、保険契約の解約返戻金の計上により、経常利益は810,977千円（同71.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は510,140千円（同81.9%増）となりました。

なお、当社グループは技術者派遣事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて768,179千円増加し、10,763,419千円となりました。これは、流動資産が872,759千円増加、固定資産が104,580千円減少したことによるものであります。

流動資産の増加は主に、現金及び預金が587,159千円増加、売掛金が250,844千円増加したことによるものであります。

固定資産の減少は主に、有形固定資産が29,161千円減少、無形固定資産が12,553千円増加、投資その他の資産が87,972千円減少したことによるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて525,980千円増加し、3,409,048千円となりました。これは、流動負債が532,566千円増加、固定負債が6,585千円減少したことによるものであります。

流動負債の増加は主に、未払金が451,055千円増加、その他（流動負債）が132,066千円増加、未払消費税等が60,084千円減少したことによるものであります。

固定負債の減少は主に、資産除去債務（固定負債）が6,253千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて242,199千円増加し、7,354,370千円となりました。

これは主に、利益剰余金が138,396千円増加、自己株式が79,077千円減少、資本剰余金が42,753千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、4,956,681千円となり、前連結会計年度末に比べ586,866千円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得た資金は920,578千円（前年同四半期は338,139千円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益811,292千円、未払金の増加額520,809千円、法人税等の支払額250,402千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は78,479千円（同140,134千円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出189,226千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は259,125千円（同280,115千円の支出）となりました。これは主に配当金の支払額371,450千円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,406,607	4,993,767
売掛金	2,899,917	3,150,761
その他	445,444	480,200
流動資産合計	7,751,969	8,624,729
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	453,952	431,905
その他（純額）	129,687	122,572
有形固定資産合計	583,639	554,478
無形固定資産		
のれん	674,957	622,080
その他	312,616	378,046
無形固定資産合計	987,574	1,000,127
投資その他の資産		
繰延税金資産	170,613	143,788
その他	501,442	456,795
貸倒引当金	—	△16,500
投資その他の資産合計	672,056	584,083
固定資産合計	2,243,270	2,138,689
資産合計	9,995,239	10,763,419
負債の部		
流動負債		
未払金	1,727,949	2,179,004
未払法人税等	218,476	232,054
未払消費税等	487,640	427,555
賞与引当金	102,813	93,556
資産除去債務	1,258	6,466
その他	178,847	310,913
流動負債合計	2,716,985	3,249,551
固定負債		
退職給付に係る負債	30,864	33,147
資産除去債務	123,921	117,668
その他	11,297	8,681
固定負債合計	166,082	159,496
負債合計	2,883,068	3,409,048

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	1,239,291	1,282,044
利益剰余金	6,111,694	6,250,090
自己株式	△344,915	△265,837
株主資本合計	7,036,070	7,296,298
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,342	6,582
その他の包括利益累計額合計	5,342	6,582
新株予約権	70,758	51,489
純資産合計	7,112,171	7,354,370
負債純資産合計	9,995,239	10,763,419

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	8,670,178	11,137,475
売上原価	6,086,756	8,072,228
売上総利益	2,583,421	3,065,246
販売費及び一般管理費	2,113,458	2,328,024
営業利益	469,962	737,221
営業外収益		
受取利息	29	45
為替差益	849	1,959
受取賃貸料	570	570
未払配当金除斥益	274	90
保険解約返戻金	—	70,671
その他	907	906
営業外収益合計	2,630	74,243
営業外費用		
支払利息	19	4
不動産賃貸費用	483	483
その他	16	1
営業外費用合計	519	488
経常利益	472,073	810,977
特別利益		
新株予約権戻入益	—	315
特別利益合計	—	315
特別損失		
固定資産除却損	132	—
特別損失合計	132	—
税金等調整前四半期純利益	471,940	811,292
法人税、住民税及び事業税	204,390	276,942
法人税等調整額	△12,895	24,209
法人税等合計	191,495	301,152
四半期純利益	280,445	510,140
親会社株主に帰属する四半期純利益	280,445	510,140

（四半期連結包括利益計算書）
（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
四半期純利益	280,445	510,140
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,649	1,240
その他の包括利益合計	3,649	1,240
四半期包括利益	284,095	511,380
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	284,095	511,380

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	471,940	811,292
減価償却費	73,553	86,781
のれん償却額	52,877	52,877
保険解約返戻金	—	△70,671
株式報酬費用	18,323	△13,806
新株予約権戻入益	—	△315
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△475	16,500
賞与引当金の増減額（△は減少）	48,285	△9,256
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	4,561	2,283
受取利息	△29	△45
支払利息	19	4
固定資産除却損	132	—
売上債権の増減額（△は増加）	△225,075	△250,844
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△113,418	△45,864
未払金の増減額（△は減少）	213,332	520,809
その他の流動負債の増減額（△は減少）	56,172	73,007
その他	9,481	△1,787
小計	609,681	1,170,962
利息及び配当金の受取額	29	42
利息の支払額	△22	△25
法人税等の支払額	△271,549	△250,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,139	920,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△84,752	△10,626
資産除去債務の履行による支出	—	△2,470
無形固定資産の取得による支出	△15,194	△189,226
その他	△40,188	123,843
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,134	△78,479
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△1,726	△1,025
自己株式の取得による支出	—	△92
ストック・オプションの行使による収入	451	113,444
配当金の支払額	△278,839	△371,450
財務活動によるキャッシュ・フロー	△280,115	△259,125
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,284	3,893
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△78,825	586,866
現金及び現金同等物の期首残高	4,021,037	4,369,815
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,942,211	4,956,681

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年6月21日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（社外取締役を除く）に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式1,444株を処分いたしました。さらに、ストック・オプションとしての新株予約権の権利行使により、当第2四半期連結累計期間において自己株式160,674株を処分いたしました。また、単元未満株式の買取により自己株式56株を取得しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本剰余金が42,753千円増加、自己株式が79,077千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,282,044千円、自己株式が265,837千円となっております。